

国語

(2024)

- (注意事項)
- 1 問題文は36ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

文章A

私たちは聞いたことのある文ばかりを、聞いたとおりに暗唱して発話しているわけではない。日々、新たな発話を次々に作り出している。発話の可能性は無限大である。言語のこの特徴を、「生産性」と呼ぶ。

たとえば、ある人が、「コロナも落ち着いたし、せっかくの読書の秋だから、『言語の本質』を持って川沿いのカフェにでも行こうかな」と発話したとする。おそらくこれは、これまで誰も発したことがないし、聞いたこともない発話である。にもかかわらず、何の違和感もなく、理解も容易である。

同じことは、文だけでなく単語のレベルについても言える。私たちは、すでに知っている単語や単語形成の規則をもとに、新たな表現を生み出すことができる。たとえば、bookの複数形はbooks、catの複数形はcatsというパターンに基づいて、はじめて聞いた単数名詞covidiot（コロナウイルスの感染対策をしない愚か者）からもcovidlotsという複数形を作り出すことができる。日本語でも、「就活」「婚活」「朝活」「奸活」といったパターンから、新たに「腸活」（腸を整える活動）、「ヨガ活」（ヨガ活動）、「読み活」（読書会）のようなことが日々生み出されている。

口笛や咳払いや泣き声を考えてみよう。これらはいずれも、口から発せられる音である。しかし、「ピーピピ、ピーピーピーピー」などと新たなパターンで音を発することは可能だとしても、そうした工夫により何種類ものメッセージが伝えられるようになるとは考えにくい。口笛、咳払い、泣き声は **X** がなく、生産的に新たな表現を作り出せるようにはできていない。

文章B

第2章で述べたとおり、日本語や韓国語といったオノマトペが発達した言語では、そのアイコン性^(ア)がきわめて体系的である。語形のアイコン性を思い出してみよう。日本語のオノマトペの30%以上が、「ブラブラ」「キラキラ」「テクテク」「ドキドキ」「ポチポチ」など、重複形により出来事の反復や継続を表すものであった。さらに、とくにくだけた会話や漫画などでは、新たな重複形オノマトペが作り出されることも多い。たとえば、柔らかい毛で覆われた動物を形容する「モフモフ」は2000年頃にできた新語である。筆者らが漫画で見つけた「コシコシ」は甘えて頭を擦り付ける様子を、「ふるふる」は首を素早く振る様子を表すために新たに作られたオノマトペである。前者は「ゴシゴシ」、後者は「振る」をもとにしてい

るのだろう。オノマトペの重複形は非常に生産的なのである。

音のアイコン性も考えてみよう。日本語のオノマトペでは、語頭の清濁の音象徴(音2)が目立った体系性を見せることを見た。「コロコロ」より「ゴロゴロ」は重く、「サラサラ」より「ザラザラ」は粗い。オノマトペの語根(「コロ」「ゴロ」)の半数強がこの対立を見せる。先ほどの「コシコシ」(弱めのこすり)という例も、「ゴシゴシ」との対比から作られたとすると、清濁の音象徴をうまく利用していることになる。

このように、語形のアイコン性についても音のアイコン性についても、オノマトペの体系性と生産性は顕著である。オノマトペが言語であることの強力な根拠と言えよう。

(中略)

文章C

私たちは言語により、お互いの考えをやりとりする。先ほどはこれを言語の「コミュニケーション機能」と呼んだ。コミュニケーションを目的とするため、私たちは言語にできる限り多くの情報を盛り込もうとする。情報が豊富な発話のほうが、そうでない発話よりも価値があるはずである。その一方で、言語には、できる限り形式が単純であったほうがよいという面もある。あまりに複雑な言語は覚えるのが大変であるし、コミュニケーションにも向かない。簡単に済ませたいのだ。言語のこのような特徴は、しばしば「経済性」と呼ばれる。少量の表現でたくさんの内容を伝えたいという志向性は、前項の生産性の話へとつながる。

経済性は言語のさまざまな側面に現れる。その一つが多義性である。どの言語にも、複数の関連する意味を持つ語が大量に存在する。たとえば、「さがる」という日本語の動詞は、〈下方向に移動する〉という意味以外にもさまざまな意味を持つ。「危ないから下がってください」という文では〈後ろに移動する〉の意味、「無礼者、下がちなさい」という文では〈偉い人の眼前から遠ざかる〉の意味、「物価が下がる」という文では〈値が小さくなる〉という抽象的な意味を表している。同様に、英語の「ストロング strong」という形容詞も、〈力が強い〉という意味以外にもいろいろな意味を持つ。strong bookshelf と いえば 〈壊れにくい本棚〉を、strong relationship と いえば 〈強く結びついた関係〉を、strong coffee と いえば 〈濃いコーヒー〉を表す。

言語に多義語が多いのには理由がある。すべての意味について異なる形式が存在していたらどうだろう？ 意味の数だけ形式を覚えなければならぬことになる。たとえば、コーヒーの濃さを表すのに、すでに〈強い〉という意味で用いている strong という形式が使えない。したがって、た

たとえば nappy のような新しい単語が必要になる。つまり、英語話者は新たな別の形式を覚えなければならないことになり、非常に効率が悪い。

一つの形式に複数の関連する意味が対応していれば、覚える形式が一つで済む。それに加えて、複数の意味についても、バラバラではなく整理して覚えることができる。すなわち、「さがる」にとつての〈下方向に移動する〉のように、中心的な意味がまずあり、そこからの派生として残りの意味を捉えることができる。「あがる」にも「物価があがる」という言い方が可能であるように、この意味の派生の仕方にはある程度のパターンがある。

意味の派生パターンの一つは、第一章で見た「換喩 (メトニミー)」である。「鍋を食べる」のように、ある概念 (鍋) をヒントにそれと近い関係にある概念 (鍋の中の料理) を表す。「手をあげる」という一つの表現で〈立候補する〉意味や〈暴力を振るう〉意味を表すのも、「ワンワン」でイヌを指すのも換喩である。

加えて広範に見られる派生パターンに、「隠喩 (メタファー)」が挙げられる。隠喩は、一般に抽象的な概念を具体的な概念で捉えようとする。本来目に見えない物価の変動を、空間的な上下方向で捉えるのは隠喩の例である。

意味派生の仕方にある程度のパターンがあるため、多義語は言語使用者の記憶にとつて都合なのである。仮に strong に〈濃い〉という隠喩の意味があると知らない人であっても、strong coffee と聞けば、〈強い〉という意味から〈薄いコーヒー〉よりは〈濃いコーヒー〉を表すと察しがつくだろう。このように、言語の経済性は、私たちが覚えなければならない形式の数を最小限に抑えてくれているのである。

(中略)

文章 D

オノマトペには多義語が豊富に見られる。たとえば、「カチカチ」は、「カチカチと氷を叩く」というように硬いものを叩く音を写すことができる。一方で、「この氷はカチカチだ」という文では〈叩いたらカチカチという音が出るくらい硬い〉という触覚義を、「社長は頭がカチカチで困る」では〈融通が利かない〉という意味を、さらに「受験生はカチカチに緊張している」では〈極度に緊張している〉という意味を表す。興味深いことに、「カチカチ」の代わりに「硬い」という形容詞を用いて、「社長は頭が硬い」や「受験生は緊張で硬くなっている」のような言い方も可能である。つまり、「カチカチ」と「硬い」は意味の派生パターンを一部共有しているということである。「硬い」と同様に「カチカチ」もまた言語であることの表れと言えよう。

物音を表すオノマトペが、その音を出しそうな触覚的特徴をも表すケースは多く、「ザラザラという音」から「ザラザラした手触り」、「バリバリという音」から「バリバリした食感」、「カリッという音」から「カリッとした歯応え」、「カサカサという音」から「カサカサした肌」のように、ほぼパターン化している。

もう一つ例を見てみよう。「ゴロゴロ」というオノマトペは実に多くの意味を持つ。真つ先に思い浮かぶのは「岩がゴロゴロと転がる」のような回転義だろうか。「雷がゴロゴロ鳴る」や「ネコがゴロゴロいう」の「ゴロゴロ」は音を写しているが、多義というよりは、たまたま同じ音連続で写したという同音異義の関係にあるものと思われる。さらに、「ゴロゴロしていないで働け」というと、横になって怠ける様子が表される。回転義の「ゴロゴロ」からの派生であろう。「この地域には選手がゴロゴロいる」の「ゴロゴロ」はたくさんいることを表す。川辺の石のように転がってきた結果そこにある、という想像に基づいていると考えられ、その意味でやはり回転義をもとにしている。「コンタクトで目がゴロゴロする」という表現も、コンタクトレンズが目表面であたかも回転しているかのような不快感を引き起こすことをいう。回転義に基づく触覚義と言えよう。

このように、「カチカチ」や「ゴロゴロ」という単一のオノマトペから、無理なく意味の派生が生じ、見事な多義性が実現している。このおかげで、用いるオノマトペの数が少なく済み、経済性へとつながる。それに加えて、「カチカチ」について見たように、同様の意味派生パターンが他のオノマトペや一般語にも確認されることも多い。この特徴もまた、オノマトペはもとより言語一般の経済性に貢献している。

文章E

ことばの意味変化は、しばしばミスコミュニケーションを生む。多義性にパターンがあるとはいっても、言語によって、方言によって、世代によつて、意味の広がり方には少なからず差異が生じる。コミュニティ内における独自の意味の発展には、メンバー同士の絆を深めるような側面もある。

たとえば、若い世代の間で「やばい」が〈とてもよい〉や〈とてもおいしい〉の意味で使われだしてすでにしばらく経つが、使い慣れていない話者にはよい意味なのか悪い意味なのかわからず、解釈に当惑するだろう。また、「普通にかわいい」や「普通にいいね」のような言い方に違和感を抱く読者もいるのではなからうか。若者たちは「普通に」を、〈ありうる想定に反して十分にかわいい・いい〉のような意味で使っているらしい。

さらに、NHK放送文化研究所の2019年のウェブ記事には、「カレーがほんとに好きで、なんなら毎日食べてます」のような若者ことばに関する調査報告が紹介されている。「なんなら代わりに行きましょうか?」のような、何かを提案するときを使う「なんなら」にしか馴染みのない読

者には、ただの誤用に思えるかもしれない。若者たちは、どうやら〈さらに言えば〉や〈下手をすると〉のようなニュアンスを意図しているらしい。彼らのなかには、伝統的な「提案」の意味を知らない人も多いようだ。

このように、ことばの意味の派生にはある程度のパターンが存在するものの、特定のグループの遊び的な使い方が広がって定着し、結果として前の世代にはつながりが見えないほどの隔たりが生じることもある。そのようなことばは、前の世代にとっては、多義語というよりも同音異義語である。

このような時代の変化に伴う意味の変容はオノマトペにも見られる。「サクッと済ませる」「サクサク仕事をこなす」のような表現は、すでに若者以外にまで浸透している。一方、「毛がワサワサしたイヌ」や「草がワサワサしてきた」という表現は比較的新しいようである。20世紀初頭には、「ワサワサ」は「ソワソワ」に似た落ち着きのなさを表したという。それが今では、落ち着きのなさとはまるで関係のない、毛や草の量を表すことがあるらしい。多義というよりも同音異義の例であろう。

(注1) オノマトペ⇨擬音語・擬声語・擬態語の総称。

(注2) 音象徴⇨ある言語において特定の音が特定の意味と結びつく傾向のこと。

(今井むつみ、秋田喜美 『言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか』による)

問1 空欄 X に入る語句としてもっとも適切なものを次の1〜5のなかから一つ選べ。 解答番号

1

- 1 特定の分野をカバーする語彙の体系
- 2 語尾によって意味が変化するしくみ
- 3 体系的な組み合わせの規則
- 4 単語に相当する「音のまとまり」
- 5 無限の発話を作り出すのに十分な数の音

問2 傍線(ア)「アイコン性」とはオノマトペのどのような特徴を指していると考えられるか。もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選

べ。解答番号 2

- 1 ある対象について、それを類推させる音によって象徴的に表現するという特徴
- 2 表されるものとは無関係の音の連続によって新しい意味を生み出すという特徴
- 3 抽象的な概念を具体的なことばに変換できるとい特徴
- 4 ものや人の外観を、それと類似していない音に変換するという特徴
- 5 ものや人の目立つ特徴に注目して新しい単語を作り出すという特徴

問3 傍線(イ)「語形のアイコン性についても音のアイコン性についても、オノマトペの体系性と生産性は顕著である」とあるが、ここで述べられている、オノマトペの語形ないし音が持つ「体系性と生産性」を示す例はそれぞれどれか。次の1～6のなかから一つずつ選べ。

- 1 外国の動物の鳴き声には外国語のオノマトペをそのまま用いる。
- 2 軽い笑いを「ケラケラ」、大笑いを「ゲラゲラ」のように区別して表現する。
- 3 犬種によって「ワンワン」「キャンキャン」のように鳴き方を区別して表現する。
- 4 髪の毛の乾いた感じを表す「サラサラ」を雪の感触の表現にも用いる。
- 5 何度も転がる様子を表すために語根「コロ」を重複させる。
- 6 「ニコニコ」と「プンプン」のイメージをもとに特定の絵文字を作る。

オノマトペの語形の「体系性と生産性」を示す例 解答番号

3

オノマトペの音の「体系性と生産性」を示す例 解答番号

4

問4 文章Cに小見出しを付けるとしたら、どのようなものがもっとも適切か。次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

5

- 1 言語とオノマトペの共通点
- 2 言語の意味派生
- 3 言語の経済性
- 4 言語のコミュニケーション機能
- 5 言語の多義性

問5 傍線(ウ)「換喩(メトニミー)」とあるが、ここで述べられている「換喩」を含む例はどれか。次の1～6のなかから二つ選べ。なお、解答の順序は問わない。解答番号

6・7

- 1 うだるような暑さが続いていたが、ここにきてだいぶ秋らしくなった。
- 2 多くのトラブルに見舞われながらも彼らは鉄の意志でその大事業を成し遂げた。
- 3 コロナ禍以前に比べて、会社の仲間と一杯やる機会がめっきり減った。
- 4 総選挙を間近に控え、永田町では熱い論戦が繰り広げられている。
- 5 その事件が起こって以来、それら二か国の関係は急速に冷え込んだ。
- 6 中世のような街並みに思いをはせると、留学への夢はどんどん膨らんでいった。

問6 傍線(エ)「カチカチ」と「硬い」は意味の派生パターンを一部共有している」とあるが、どのような意味か。もっとも適切なものを次の1～5

5のなかから一つ選べ。解答番号 **8**

- 1 一つのオノマトペが持つ複数の意味は、いくつかの異なる単語を用いて言い換えることができるということ。
- 2 あるオノマトペの意味と似た意味を持つ特定の一般語を用いて、そのオノマトペの複数の意味に対応した言い方ができるということ。
- 3 オノマトペもその他の品詞も、「二つの形式が複数の意味を表す」という共通点を持っているということ。
- 4 音を写したオノマトペが、物理的な意味のみならず比喩的な意味をも派生させることができるということ。
- 5 オノマトペと一般の単語が、それぞれが表せない微妙なニュアンスの意味をお互いに補い合っているということ。

問7 文章A、B、C、Dを「体系性と生産性」または「経済性」という主題の共通性によってまとまりに分けるとどのようなになるか。まとまりは

〈 〉で示す。もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 **9**

- 1 〈文章A〉 〈文章B、文章C、文章D〉
- 2 〈文章A、文章B、文章C〉 〈文章D〉
- 3 〈文章A、文章B〉 〈文章C、文章D〉
- 4 〈文章A、文章C、文章D〉 〈文章B〉
- 5 〈文章A、文章B、文章D〉 〈文章C〉

問8 傍線(オ)「結果として前の世代にはつながりが見えないほどの隔たりが生じることもある」とあるが、ここで言う「つながり」とはどのような

意味か。もつとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 10

- 1 あることばが持つ複数の意味と、それを表す形式とのつながり
- 2 ある世代が使う新語Pの意味と、別の世代が使う新語Qの意味とのつながり
- 3 あることばが持つ中心的な意味と、そこから派生した意味とのつながり
- 4 あるコミュニティ内で使われる特殊なことばと、その意味とのつながり
- 5 あることばの伝統的な意味と、そのことばの誤用とされる意味とのつながり

問9 本文の内容と合致するものを次の1～8のなかから三つ選べ。なお、解答の順序は問わない。解答番号 11・12・13

- 1 オノマトペの語形ないし音がつアイコン性には体系性があるため、新しいオノマトペを生産的に作り出すことができる。
- 2 オノマトペと言語は同じ音の体系を共有しているが、オノマトペは音を重複させるという点で、言語にはある経済性に欠けている。
- 3 オノマトペが作られる際には、実際の音を忠実に写すことが優先されるため、清濁の対比を利用して作られるオノマトペは少数派である。
- 4 コミュニケーションをより容易にするため、言語は意味ごとに形の異なる短い単語を多く生み出す志向性を持つ。
- 5 一つの形式が持つ複数の意味の派生パターンが、オノマトペと一般語とで共通している場合がある。
- 6 オノマトペは聴覚、視覚、触覚のイメージをそのまま音に置き換えた表現であるため、その意味は時代にかかわらず同じである。
- 7 あるオノマトペに対し、その伝統的な意味とは関係のない意味を備えた同音異義のオノマトペが存在することがある。
- 8 「やばい」や「普通に」の新しい意味は、世代間のコミュニケーションを円滑にするために特定のコミュニティによって作られた。

II 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

文章A

技術革新はイノベーションの必要条件ではないが、その大きな要因である。しかし日本企業のように技術開発を技術陣に丸投げすると、彼らは「高くてよいもの」を開発しがちだ。他方、消費者は「安くてよいもの」を求める。「高くて悪いもの」は市場には出ないが、「安くて悪いもの」はしばしば市場に出てくる。こういう下位市場から出てくる技術は破壊的イノベーションと呼ばれている。

しかしこの訳語はあまり適切ではない。Disruptというのは意図的に破壊するというよりは、新しい技術によって古い技術が結果的に陳腐化することを意味している。イノベーションは多くの場合、既存の技術を改良する持続的イノベーションを破壊するのではなく、フレミングを変えて新しい市場を発見するのだ。

クレイトン・クリステンセンはハーバード・ビジネス・スクールでイノベーションを研究する素材として、ハードディスクドライブ（HDD）を選んだ。それはこの業界が、企業の新陳代謝が激しいことで有名だったからだ。

1970年代初めのHDDは直径14インチで、大型コンピュータに使われ、容量は130MB（メガバイト）程度で、この容量は年率15%ずつ上がった。これに対して1980年ごろ、8インチのHDDが登場したが、当初の容量は40MB程度で、当時300MB以上になっていた14インチよりはるかに小さかったため大型機には採用されず、価格が安かったのでミニ・コンピュータに採用された。

しかしミニコンのほうが台数は多かったため、8インチのHDDは量産効果が大きく、開発競争も激しかったので、容量も年率40%ぐらい上がった。この結果、80年代後半には8インチの容量が14インチをしのぐようになった。そうなるから14インチのメーカーは8インチを生産するようになったがすでに遅く、すべて市場から撤退した。

1980年に最初の5.25インチHDDが発売されたが、容量は10MBで、8インチに遠く及ばなかったため、ミニコンには採用されなかった。そのメーカーは、当時始めていたパソコンに売り込んだ。パソコンでは当初はフロッピーディスクが主流だったが、1990年ごろには5.25インチHDDが標準装備されるようになり、容量は年率2倍近いスピードで増えた。コンピュータも90年ごろには大型機やミニコンが没落し、パソコンが主流になったため、HDDも5.25インチが主流になった。8インチの4大メーカーのうち、5.25インチで生き残ったのは1

社だけだった。

3. 5インチHDDは1987年から出荷が始まった。これはラップトップ向けのもので、当初の容量は20MB程度だったため、デスクトップ・パソコンには採用されなかった。5.25インチの主要メーカーのうち、生き残ったのはシーゲートだけで、残りは撤退した。次いで2.5インチのHDDが発売されたが、これはラップトップの小型化に使われたために、既存メーカーも移行した。1992年に出た1.8インチHDDは用途がなかったため、既存メーカーはほとんど生産しなかったが、これがiPodのHDDとなった。

^(ク)このようにHDDの主要メーカーは、直径が変わるごとにほとんど入れ替わり、常に新規参入メーカーがトップになった。それは経営者が怠慢だったからでもなければ、技術が劣っていたからでもない。むしろ、すぐれた経営と高い技術を持った企業ほど、こうした落とし穴に落ちやすい。その原因は、新たに登場する破壊的イノベーションが単価が安く、技術的にも劣ったものだからである。

新しい小型ディスクは用途もはっきりしないため、経営者はそれを相手にせず、それより高性能の持続的イノベーションを続ける。^(ケ)技術者も「昇れるが、降りられない」。高品質・高価格の製品は開発意欲をかきたて、経営者にも通りやすいが、低品質・低価格の技術を提案する技術者は少ない。それを開発するのは、新しいベンチャー企業だ。

在来企業は、顧客の要求を無視したわけではない。大型機の顧客は容量の少ない8インチのディスクより既存の14インチの大容量化を望み、メーカーはそれに忠実に従った。つまり破壊的イノベーションは、企業と顧客からなるアーキテクチャを破壊し、ミニコンという新しい市場を創造するのだ。経済学の教科書に出てくるような同じ市場の中での価格競争は経営者にも技術者にもわかるが、競争の土俵を変えるプラットフォーム競争に気づくのはむずかしい。

^(カ)破壊的イノベーションによる失敗が繰り返される原因は、カーネマンの2段階モデルで説明できる。進化の過程はきわめて不確実なので、いったん適応に成功した行動パターンをとり続けるのが安全である。脳も、いったん決めたフレームを維持する機能は強力で、システム1の学習は遅いので、既存のフレームと外界の状況の齟齬が大きくなって生存が脅かされたとき、初めてフレームを修正する。^(キ)さらに社会の中で特定のフレームが共有されていると、自分だけ違うフレームを持つことは困難なので、集団の同質性が強ければ強いほど、既存のフレームへの執着が強くなり、危機への対応が遅れやすい。

かつて日本の製品が世界市場を席巻したのは、それとは意識しないでこうした破壊的イノベーションを欧米市場に持ち込んだことであつた。たとえばホンダが対米輸出を試みた1950年代、欧米のオートバイや長距離を走るハーレーダビッドソンのような大型のものが主流だった。^(ク)ホンダが

小型オートバイ「スーパーカブ」を売り出したとき、アメリカのオートバイメーカーは嘲笑したが、スーパーカブは次第に性能を向上させ1970年ごろには大型のオートバイを駆逐してしまった。

しかし80年代に世界市場を制覇した日本企業は、新しい市場を創造しないで既存の技術を改良する持続的イノベーションに固執して没落した。特に情報通信の世界ではパソコンやインターネットのような破壊的イノベーションを軽視して世界の流れに大きく乗り遅れた。これを「ものづくり」や「すり合わせ」で乗り切ろうなどという話は時代錯誤だ。必要なのは既存のパラダイムを破壊することだが、これは失うもの大きい大企業には困難だろう。

文章B

カーネマンは、認識と行動の構造をシステム1とシステム2という2段階のモデルで考えた。^(七) 図表のように、人間は感覚器官から入力された情報の中から、まずシステム1でフレームを設定して情報を選び、その中でシステム2によって推論する。システム1は直観的で、連想によって自動的に機能するが、学習は遅い。これに対してシステム2は論理的で、ルールによって思考するため柔軟である。新古典派経済学の考えているのは、後者だけである。

感覚器官の出力は遺伝的に限定されており、たとえば人間の目に見える電磁波の波長は400〜800ナノメートルに限られている。こうした制約はすべての動物にあり、たとえばダニには目がないが、哺乳類の出す酪酸のにおいに反応する。^(八) このような「環世界」は動物によってまったく違う。これが本源的なフレーミングである。

システム1はそれほど固定されていないが、進化の早い段階にできた脳の機能と考えられ、高等動物や類人猿にも同様のメカニズムが見られる。たとえば突然、大きな音がしたとき反射的に逃げる反応は、人間も犬も同じである。こうした反応は脳の中の辺縁系と呼ばれる部分で行われており、これは哺乳類で共通の部分が多い。

システム1で行われる直観的な情報処理を、カーネマンはヒューリスティクス（発見法）と呼んでいる。これは感覚器官から入力される膨大な情報の中から必要な情報を選ぶ「情報の粗ごなし」で、フレーミングやアンカリングなどはそのひとつである。これには定型的なアルゴリズムはなく、身体的な感覚と結びついていることが多い。

ただ、システム1の中には前頭葉や新皮質など脳の新しい部分で行われる機能もあり、システム2との区別も固定的ではない。たとえば自転車の

運転は、最初は意識して訓練しないと乗れないが、しばらくすると体が自動的にバランスを取るようになる。^(チ)これは最初システム2で意識的にコントロールしていた感覚がシステム1の無意識に組み込まれたものと考えられることができる。

実験でわかったのは、多くの被験者がまずシステム1で直観的に考え、システム2がそれをモニターするが、その関係はかなりゆるやかなものだという事だ。^(ツ)たとえば「バットとボールが合計1.1ドルで、バットはボールより1ドル高い。ボールの価格はいくらか？」という問題に、プリンストン大学の学生の50%が「10セント」と答えた。これはもちろん誤りだが、直観的にはシステム1は1.1ドル＝1ドル+10セントと分解してしまう。これをシステム2がチェックしないで答えてしまうのだ。

しかしシステム1を「不合理な偏見」と考えてはいけない。何らかのヒューリスティクスの導きがなければ、感覚器官に入ってくる無限の情報から何を選ぶべきかはわからないからだ。ただ遺伝的・習慣的にそなわっているヒューリスティクスは、進化の過程で個体保存するメカニズムなので、保守的で現状を維持するバイアスが強く、得るものより失うものに強く反応する。こういうバイアスはイノベーションを阻害する傾向が強いので、それを自覚して仮説を立てる必要がある。

文章C

インターネットも（厳密には技術とはいえないが）破壊的イノベーションのひとつである。1980年代、通信業界では次世代のネットワークはVAN（付加価値通信網）だといわれ、その国際標準を策定する交渉がISO（世界標準化機構）で行われたが、規格が決まらないまま10年以上たち、その間に急速に普及したインターネット（TCP/IP）に国際標準が奪われてしまった。

NTTは80年代にITU（国際電気通信連合）で決まったISDNを採用し、90年代には光ファイバーによるB-ISDN（広帯域ISDN）を次世代技術と位置づけ、90年代までADSL（非対称デジタル加入者線）などのインターネット技術を拒否してISDNの営業を続けた。

この原因は、TCP/IPが通信品質を保証できないネットワークだからである。厳密にいうと、TCP/IPは、ネットワークでさえなく、さまざまなLAN（構内通信網）を相互接続する簡単な規約（プロトコル）でしかない。このプロトコルを守っている限り、どんなネットワークとも相互接続できる。

インターネットでは全世界がひとつのプロトコルでつながっているのだから、全体を管理するシステムはどこにもない。「バケツリレー」のように、多くのルータを経由してデータが渡されるので、途中でデータが欠けたり止まったりするのは日常茶飯事だ。最初からエラーが出ることを見込んで

(テ)

「ベスト・エフォート」でつくられている。

他方、電話網はNTTの電話局が集権的に管理しており、交換機が故障すると管内の電話機がすべて使えなくなるので、要求される信頼性の水準はきわめて高く、電話網のコストの9割以上はバックアップ用の設備だといわれている。通信速度や信頼性という尺度で考えると、電話網はインターネットよりはるかに優れている。

インターネットは通信の負荷を全世界のネットワークで負担するので、だれも責任をもたないが、電話網よりはるかにコストが安い。村井純氏の表現によれば、「99%の信頼性を実現するコストと、あと1%信頼性を高めるコストはほぼ同じ」だが、その1%を節約することによってインターネットは低コストの通信を実現したのだ。

本質的な違いは、インターネットでは機材やソフトウェアをユーザーがコントロールすることだ。電話網の場合は通信をすべて電話会社が管理しているため、ユーザーが勝手にソフトウェアを付加することはできないが、インターネットにつながるLANはローカルなネットワークだから、何をしてしまっても物理的なネットワークは同じでも、端末を変えるだけで性能は向上し、ウェブサーバをつければ全世界に情報を発信できる。

このため、NTTの人々は「インターネットは通信ではない」ときらった。これは正しい。インターネットは、グラハム・ベル以来の電話とはまったく異なるコンピュータの接続手順にすぎない。しかし、ユーザーにとっては、通信かどうかはどうでもよい。信頼性を犠牲にすればコストが大幅に下がるなら、市場はそれを選ぶのだ。インターネットは従来の「通信」というフレームの外側で起こった革命だった。

文章D

かつてステイブ・ジョブズがソニーの本社を訪れたとき、当時の盛田昭夫社長が初代のウォークマンをプレゼントすると、ジョブズはそれに魅入られ、その場で分解して部品をひとつひとつ見て、それがどのように作られ、組み立てられたのかを調べたという。盛田氏が死去した直後の2000年のMacExpoで、ジョブズは大スクリーンに盛田氏の遺影を掲げ、彼の冥福を祈ることからプレゼンテーションを始めた。ソニーは彼の目標としたイノベーションだったのだ。

クリステンセンも指摘するように、トランジスタラジオや小型車など、1950年代から70年代の日本製品は破壊的イノベーションだった。それはアメリカ製品の過剰品質・大量生産に対して、低価格で多品種・少量生産の市場を創造し、それが普及するとともに性能を上げてアメリカ製品を駆逐した。

これは必ずしも日本メーカーの意図した戦略ではなく、日本が貧しく生産量が少ないため、やむなくとった生産方法だった。たとえばトヨタの有名なカンバン方式は、狭い工場在庫を減らし、多くの車種をひとつの工場で作るための工夫だった。

このような（意図せざる）戦略は、製造業の主力がエレクトロニクスや精密機械など知識集約型の耐久消費財に移った時期に、期せずして適合した。20世紀前半の大量生産時代には、垂直統合型の巨大企業が有利だが、消費者の嗜好が多様化すると、不断に改善して品質を改良する日本企業の人的ネットワークが高い効率を発揮したのである。

日本の労働者は、いろいろな職種を転々として「多能工」になるので、職域を超えた協力によって品質を改善することもできた。下請けとの協力関係も強く、設計段階から親会社と一緒に設計する「デザイン・イン」によって情報を共有する。欧米メーカーでは、親会社が設計した通り下請けが製造する貸与図がほとんどだが、日本では部品の60%以上が下請けが設計して親会社が認めた承認図で製造される。

それに対して欧米の職能集団中心の組織は、セクシヨナリズムが強く、開発部門は現場のことを考えないで設計し、現場は問題があっても開発部門にフィードバックしない。まして下請けはまったく別の会社なので、与えられた設計の通りにつくるだけだ。このため欠陥の発見が遅く、品質管理が困難で、設計に時間がかかる。

他方、日本では高度成長期には経済の規模が拡大したので、雇用の変化には配置転換で対応する仕組みが確立したが、70年代の石油危機が転機となった。激しいインフレに対して、経営側は、労組に賃上げ抑制への協力を求める代わりに雇用の維持を約束し、出向・転籍によって雇用調整を行うシステムができた。このように系列の中で過剰雇用を解決する柔軟性が「日本的経営」の優位性の源泉だった。

いま思えば、日本の企業組織の構造は、製造業型の垂直統合からグローバルな水平分業に変わる中間の過渡的な形態だった。それはGMやIBMのように巨大ではなく、職能別に固定された階層組織としての性格も弱いため、環境の変化に応じて柔軟に変更できるメリットがあった。特に英米企業のアキレス腱^(ト)だった労使関係の調整を巧妙に行ったことが、その強みだった。

（池田信夫『イノベーションとは何か』による）

問1 傍線(ア)「技術革新はイノベーションの必要条件ではないが、その大きな要因である」とあるが、どのような意味か。傍線部の解釈として、

もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

14

- 1 技術革新に対する拘泥はイノベーションを確実に阻害するので経営者はくれぐれも注意が必要である。
- 2 技術革新がイノベーションを引き起こすことも多く観察されるが、かならずしも前提条件とはならない。
- 3 技術革新は社会を前進させるイノベーションに不可欠な要因であり、将来のために最大限重視すべきである。
- 4 技術革新にも様々な種類があり、波及効果の大きい技術革新はイノベーションの十分条件であると考えられる。
- 5 技術革新によってイノベーションが停滞するのは不可避な現象なので、企業としては別途対応を考えておくしかない。

問2 傍線(イ)「丸投げ」とあるが、どのような意味か。本文に即した説明として、もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

15

- 1 企業のトップが社内の研究開発部門に対して、詳細な指示をせずに、任せきりの状態で技術開発の成果を求めること。
- 2 経営者がほかの経営管理者の事情を斟酌して、バランスよく製品開発が進むように事前かつ丁寧に子会社に依頼すること。
- 3 技術陣が営業部門からの過酷な要求に対して、技術開発の立場から理路整然と反対意見を表明すること。
- 4 本社の管理部門が技術開発を促進すべく、技術部門からの予算や待遇面での要求を全面的に受け容れること。
- 5 顧客に徹底したヒアリングを繰り返すことで技術陣の開発能力が、他社が到達できないレベルまで磨かれていくこと。

問3 傍線(ウ)「破壊的イノベーション」の説明として、もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

16

- 1 既存の技術をこつこつと継続的に改善しつづけることによってもたらされるイノベーション
- 2 製品やサービスに対して市場や顧客がもっている認知の枠組みを一変させるイノベーション
- 3 顧客に寄り添い、消費者の嗜好や感情、心理に最大限配慮した取り組みに由来するイノベーション
- 4 環境に有害な物質を放出し続けることによって社会から絶えず批判的となるイノベーション
- 5 現存する社会構成や市場構造の利点を効果的に活かすことによって可能となるイノベーション

問4 傍線(エ)「陳腐化」とあるが、どのような意味か。本文の内容に即した、この表現の説明として適切ではないものを、次の1～5の中から1つ選べ。解答番号 17

- 1 周囲を取り巻く環境や時代の要請に適合しなくなる事
- 2 社会の進歩や変化についていけず、古臭くなる事
- 3 当初はあったはずの価値が時間の経過とともに失われる事
- 4 新しさや刺激がなくなり、ありきたりで、つまらなくなる事
- 5 周囲と上手く調和できず、物理的に腐敗しはじめる事

問5 傍線(オ)「持続的イノベーション」の具体例として、適切ではないものを、次の1～5の中から1つ選べ。解答番号 18

- 1 自転車メーカーがサスペンションを改良し、悪路で乗り心地が競合製品に劣っているという、懸案のクレーム問題が解消された。
- 2 ビール会社が原材料の調達先と各工程での配合を継続的に見直し、製品を製造する際に生じていた不良品発生率を低減させた。
- 3 家電メーカーが、製品設計に変更を施し、消費電力2%削減という目標を実現した、省エネ対応の改良型冷蔵庫の開発に成功した。
- 4 長年、CD・ビデオのレンタル事業を営んでいた会社が、音楽・動画配信サービス事業に新規参入して、業績を向上させた。
- 5 住宅メーカーが従来までの工法を精査して一部を変更し、施工期間と費用の相当程度の削減に成功し、顧客満足度を上昇させた。

問6 傍線(カ)「新陳代謝」とあるが、もっとも近い意味内容を示す四字熟語を次の1～5の中から1つ選べ。解答番号 19

- 1 新旧交代
- 2 報恩謝徳
- 3 陳勝呉広
- 4 以耳代目
- 5 三百代言

問7 傍線(キ)「8インチの4大メーカーのうち、5. 25インチで生き残ったのは1社だけだった」とあるが、この状況に対する筆者の考えとして、もっとも適切なものを次の1〜5のなかから一つ選べ。解答番号 20

- 1 市場で支配的な地位を確立した企業が、その地位を維持できず、市場占有率首位の座から陥落するのはきわめて例外的な現象である。
- 2 8インチの4大メーカーは、経営能力に乏しいことがかねてより指摘されていたため3/4が生き残れなかったのは当然である。
- 3 技術や社会の変化にともなって、市場をリードする企業がその地位を失うのは、しばしば見られることで、めずらしいことではない。
- 4 技術的資源の豊富な4大メーカーには、より技術の進んだ5. 25インチでも指導的な役割を果たしてほしかったが残念である。
- 5 環境対策や深刻化する社会問題への対応を考えると、4社のうち1社しか存続しなかったのは、大変よろこばしいことである。

問8 傍線(ク)「このようにHDDの主要メーカーは、直径が変わることにほとんど入れ替わり、常に新規参入メーカーがトップになった」とあるが、これはなぜか。筆者の考えとして、もっとも適切なものを次の1〜5のなかから一つ選べ。解答番号 21

- 1 主要メーカーの地位を占めたことで、経営陣が油断し、創業当初の意欲やチャレンジ精神を失ってしまったため。
- 2 業界の大手企業となって多くの売上や顧客を抱えたことで研究開発が後回しになり、技術軽視の風潮が組織内にはびこったため。
- 3 自社技術の延長線上にない新しい技術や市場を、未熟で魅力がないと判断するバイアスがかかるため。
- 4 ベンチャー企業によって提案される、高品質・高価格の技術によって、既存企業の品質水準が機能不全に陥るため。
- 5 直径が変わるごとに、新規参入メーカーに、主要メーカーの優秀な経営者が続々と移籍し、組織能力が充実したため。

問9 傍線(ケ)「技術者も「昇れるが、降りられない」とあるが、これはどのような意味か。本文の内容をふまえて言い換えたものとして、もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 22

- 1 経営者も技術者も会社の組織階層で上位に昇進することを目指しており、自分が降格することはまったく想定していない。
- 2 経営者も技術者も、製品やサービスの原価には下方硬直性があり、いったん増加すると削減するのが容易ではないことを認識している。
- 3 経営者も技術者も品質を向上させ、価格を上げたほうが企業経営上のぞましく、あえて水準を落とすことは選択肢として考えない傾向がある。
- 4 経営者も技術者も製品やサービスの開発意欲にいったん火がついて、情熱を極限までかきたてられた状態では、理性的な判断ができなくなりがちである。
- 5 経営者も技術者も所属する業界内での競争には多大な関心を抱いており、マーケットシェアや順位を落とすことには心情面で耐えられない。

問10 傍線(コ)「アーキテクチャ」とあるが、これはどのような意味か。本文の内容をふまえて言い換えたものとして、もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 23

- 1 全体の構造と仕組み
- 2 魅力的なデザイン性
- 3 社会問題を規制する政治勢力
- 4 市場動向を監視する番人
- 5 深刻化する対立関係

問11 傍線(中)「破壊的イノベーションによる失敗が繰り返される原因は、カーネマンの2段階モデルで説明できる」とあるが、この文は、文の構造

(組み立て)の観点から、一般にどのように分類されるか。もつとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 24

1 単文

2 平叙文

3 複文

4 感動文

5 重文

問12 傍線(シ)「さらに社会の中で特定のフレームが共有されると、自分だけ違うフレームを持つことは困難なので、集団の同質性が強ければ強

いほど、既存のフレームへの執着が強くなり、危機への対応が遅れやすい」とあるが、これはどのような意味か。本文の内容をふまえて言い換えたものとして、もつとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 25

1 社会の中で特定のフレームが知識として共有されると回避可能な失敗を繰り返すような事態にはならない。

2 集団構成員の属性や考えかたが似通っているほど、組織内で共有された、既存のフレームを修正するのは困難となる。

3 既存のフレームへの執着が、強いモチベーションの源泉となり得ることに危機管理の担当者は注意すべきである。

4 集団の同質性が強ければそれだけ組織内のチームワークが活性化され、協働によって画期的な成果が期待できる。

5 既存のフレームと外界の齟齬が大きくなって生存が脅かされるような危機的状況は、経営者が事前に介入することで防ぐことができる。

問13

傍線(ズ)「ホンダが小型オートバイ「スーパーカブ」を売り出したとき、アメリカのオートバイメーカーは嘲笑したが、スーパーカブは次第に性能を向上させ1970年ごろには大型のオートバイを駆逐してしまった」とあるが、アメリカのオートバイメーカーはなぜ「嘲笑した」のか。もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

26

- 1 自分たちの製品がホンダの小型オートバイによって駆逐されることになるだろうという運命の皮肉をその時点で確信していたから。
- 2 自社製品の性能や外観にくらべてホンダの小型オートバイがみすばらしく見えたので、売れるはずがないと考えたため。
- 3 ホンダが小型オートバイ「スーパーカブ」を売り出したときの性能から、どんどんと性能を向上させていった勢いに尊敬の念を抱いたから。
- 4 オートバイ大国である米国市場で、それまで認知されていなかった「スーパーカブ」を売り出すという旺盛な挑戦心と類を見ない無謀さ、果敢さに驚いたため。
- 5 環境負荷という面で大型のオートバイよりも排気量の小さな「スーパーカブ」のほうが将来性がありそうだという先見の明を誇ったため。

問14 傍線(セ)「図表のように」とあるが、認識と行動の構造をシステム1とシステム2という2段階のモデルで表現した図表として、本文の内容に

即して、もつとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

27

1

	システム1 (倫理的規範)	システム2 (経済合理性)
行動	フレーム棄却 情報の取捨選択	フレームの枠外での学習 情報収集の省略

2

	システム1 (利己主義)	システム2 (利他主義)
プロセス	個人の利益最大化 意思決定の重視	社会発展への貢献 意思決定の軽視

3

	システム1 (直観)	システム2 (推論)
過程	高速・自動的 学習が遅い	低速・逐次的 意識的かつ柔軟

4

	システム1 (アルゴリズム)	システム2 (ヒューリスティックス)
特徴	無意識的 コントロールが容易	意識的 コントロールが困難

5

	システム1 (新古典派経済学)	システム2 (社会学)
形態との関係性	前頭葉、新皮質で遂行 論理的な判断(熟慮)	辺縁系で遂行 反射的な反応(短慮)

問15 傍線(ソ)「このような「環世界」は動物によってまったく違う」とあるが、ここでいう「環世界」の説明として、もっとも適切なものを次の1

〜5のなかから一つ選べ。解答番号 28

- 1 各生物が、実際に活動する物理的な空間、移動範囲、時間帯を第三者が観察して、客観的に規定した世界のこと。
- 2 各生物が、それぞれ、独自の空間として認識、知覚し、主体的に構築している世界のこと。
- 3 各生物における生存戦略や栄養摂取方法に関するノウハウや知見の集合体としての世界のこと。
- 4 各生物が物理的に移動できる限界点を結んで表した推定可能な空間としての世界のこと。
- 5 各生物の心情や喜怒哀楽を機械的にトレースして可視化した、写像としての世界のこと。

問16 傍線(タ)「ヒューリスティックス(発見法)」とあるが、ここでいう「ヒューリスティックス」にもとづく思考・判断にあてはまらない事例と

して、もっとも適切なものを次の1〜5のなかから一つ選べ。解答番号 29

- 1 昨年は、周囲で誰も自動車事故に遭遇しなかったため、今年は自動車保険に入る必要がなさそうだと考える。
- 2 どんよりと曇った空模様から判断して、もうすぐ雨が降りそうだから今日は早めに帰ったほうがよいと考える。
- 3 礼服を着て紙袋をもっている人が帰りの電車で前の座席に座っているが、おそらく、結婚式帰りだろうと考える。
- 4 飛行機事故の衝撃的なニュースを最近、何度か見たので、飛行機は危険だから、しばらくの間は乗らないようにしようと考えている。
- 5 入手可能なすべての商品の価格と機能の情報を点数づけして、どの商品を購入すべきかをあらゆる面からじっくり考える。

問17 傍線(チ)「これは最初システム2で意識的にコントロールしていた感覚がシステム1の無意識に組み込まれたものと考えられるが、この具体例として、もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 30」

- 1 定価1,000円の商品が「タイムセールにつき特価300円」と表示されているのを見て、自ずと購買意欲が高まった。
- 2 御手本を見ながらでないとできなかつたむずかしい振付が、反復練習によって、何も考えなくても正確に踊れるようになった。
- 3 いつも火曜日には想定外の出来事が起きるので、毎週、火曜日が近づくと知らず知らずのうちにそわそわしてしまう。
- 4 自動車の運転中は、初心を忘れることのないよう、常に、自分自身に対する呼びかけや点検を何度も繰り返し、事故防止に努めている。
- 5 初対面では嫌な点ばかりが目についたが、何度も一緒に仕事をしていると、同僚に対して親しみの感情が自然にわきあがってくる。

問18 傍線(ツ)「たとえば「バットとボールが合計1.1ドルで、バットはボールより1ドル高い。ボールの価格はいくらか？」という問題に、プリンストン大学の学生の50%が「10セント」と答えた」とあるが、それに対して筆者はどのように考えているか。もっとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号 31」

- 1 賢明な大学生であれば、システム1とシステム2を併用し、ボールが5セント(バットは1ドル5セント)という正解に直観的にたどりつけるはずだ。
- 2 ちょっと考えればわかる問題でも誤ってしまうようでは、システム1に熟達しているとはいえず、到底、優秀な大学生ではないだろう。
- 3 システム1によるバイアスを着実に積み重ねれば、ボールが0.05ドル(バットが1.05ドル)という正解にたどりつくのはきわめて容易である。
- 4 よく知られた大学の学生でも、ちょっと考えればわかる問題の解答を誤ってしまうほど、システム1によるバイアスの影響力は大きい。
- 5 将来活躍することを目指す大学生であれば、システム2によるモニターがもたらす「不合理な偏見」には常に自覚的でなければならぬ。

問19 文章Aと文章Bの関係を説明した文章として、もっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

32

- 1 文章Aで解説した理論に適合する、具体的な事例が文章Bで示されている。
- 2 文章Aで提起した疑問点に対して、文章Bでは暫定的な解答が提示されている。
- 3 文章Aで想定している因果関係の例外的事項が文章Bでは記述されている。
- 4 文章Aで述べられている説と完全に対立する主張が文章Bでは展開されている。
- 5 文章Aでもちいた重要概念に関する詳細な説明が文章Bでなされている。

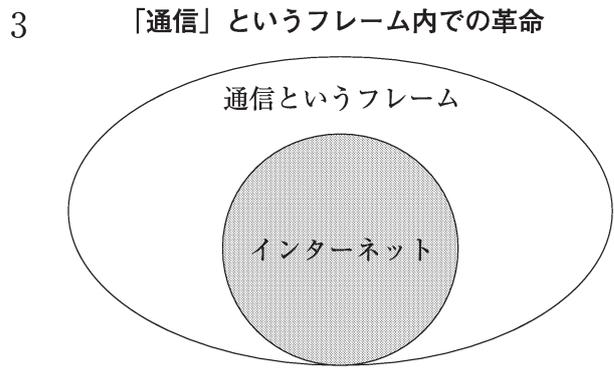
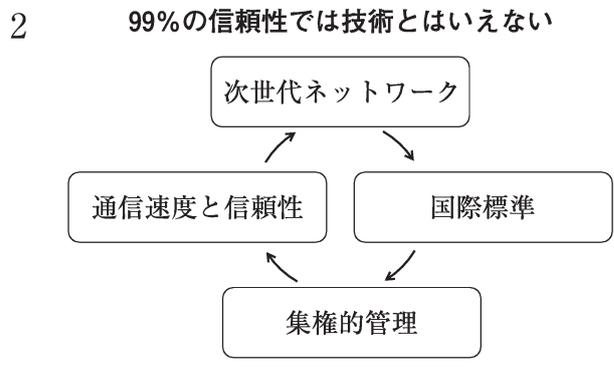
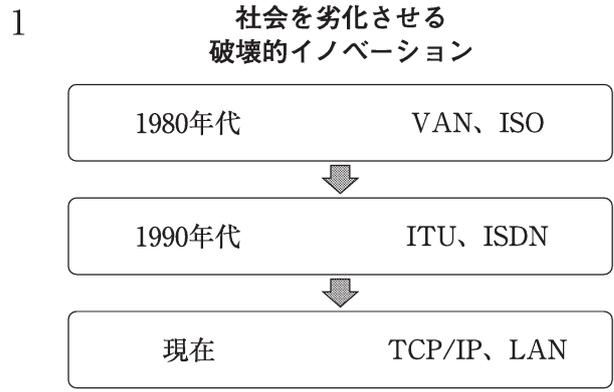
問20 傍線(テ)「ベスト・エフォート」とあるが、ここではどのような意味か。もっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

33

- 1 利用者側が状況に応じてソフトウェアや機材を自由にコントロールすることを認めた契約形態のこと。
- 2 提供側は最大の良い結果を得られるよう絶えず努力し、利用者側が満足する品質を保証した契約形態のこと。
- 3 利用者側に対して、公益性、社会性に配慮し、満足すべき結果を得られるよう不中断のモニタリングを求めた契約形態のこと。
- 4 提供側は最高の結果を得られるよう努力するが、利用者側には品質の保証がなされない契約形態のこと。
- 5 利用者側と提供側の双方に対して、環境被害が起きないように、相互に立場を尊重し合う努力を最大限求めた契約形態のこと。

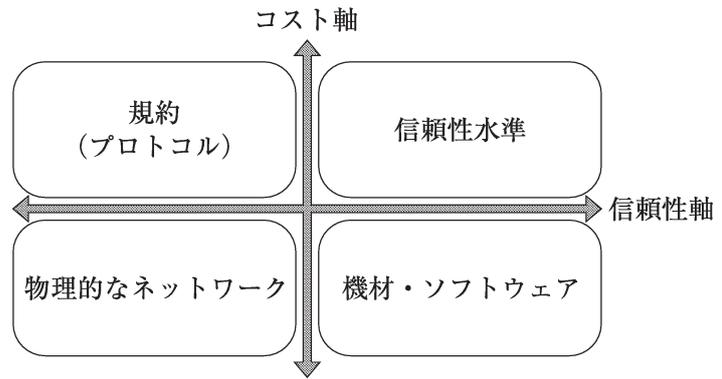
問21 文章C全体の内容を一覧するスライド(図解)として、本文の内容に即してもっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

34



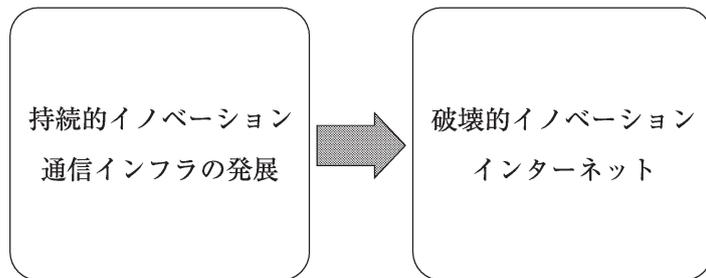
4

全体を管理するシステムの重要性



5

インターネットは通信ではない



問22 傍線(ト)「アキレス腱」とあるが、意味的に類似した慣用語表現として、もっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

35

- 1 クレオパトラの鼻
- 2 ソロモン王の指輪
- 3 人間万事塞翁が馬
- 4 弁慶の泣き所
- 5 河童の川流れ

問23 文章Dにおける筆者の主張として、もっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

36

- 1 かつての日本企業は、知識集約型の耐久消費財市場における破壊的イノベーションの担い手として、卓越した優位性を誇っていた。
- 2 垂直統合か、水平分業かの企業組織構造の重要な選択でどっちつかずの形態を選択したが、米国企業の衰退の大きな原因である。
- 3 トランジスタラジオや小型車などの成功は、当初から意図した通りの戦略が奏功した持続的イノベーションによるものである。
- 4 職能集団中心の組織はセクシヨナリズムが有効に機能するため、「デザイン・イン」による製品開発で大きな成果を収めやすい。
- 5 高度経済成長期には経済の規模が拡大したために、労使対立に代表される雇用問題が日米両国で時を同じくして深刻化した。

III 文章を読んで、後の問いに答えよ。

「議論と実行とは両立させなければならない」とは多くの人が言うことだけれども、この言葉自体が議論にとどまり、これを実行する人はたいへん少ない。

そもそも議論というのは、心に思うことを言葉として発したものである。いまだ言葉にせず書き物にもしなければ、これをその人の心事、または志という。したがって、議論は外界の事物に関係しないもの、と言ってもいいだろう。つまるところ、内側に存在するものであって、自由な、制限のないものである。

一方、実行というのは、心に思ったことを外に表して、外界の事物に接して処理することである。したがって、実行には必ず制限がある。事物に制せられて、自由を得られないのだ。

むかしの人がこの二つを区別するときは、「言」と「行」と言ったり、「志」と「巧」と言ったりした。また、今日、俗に「説」と「働き」と言うのもこれに当たる。

「言行に齟齬そごがある」とは、議論に言うことと実行することが一致しないということである。「功を評価して志を評価しない」とは、「実際の仕事のように物を与えるべきであり、心ではなんと思っているようにも、形のない心のあり方をシヨウサンしてはならない」という意味である。また、俗に「あいつの言うことはともかく、そもそもが働きのない人物だ」と言ってこれを軽蔑することがある。いずれも、ア したものである。

であるから、議論と実行とは、少しも齟齬しないよう、間違いなくバランスを取らなければいけないのだ。ここでは、初心者の人にもわかりやすいように、人の「心」と「働き」という二語を使って、それが相互に支えあってバランスを取ることによって、どのように人間にメリットをもたらすか、という仕組みと、このバランスを失うことによってどんな弊害があるか、ということ以下に論じてみる。

心が行き届かない弊害

第一に、人の働きには、大小軽重の区別がある。

芝居も人の働きであるし、学問も人の働きである。人力車を引くのも、蒸気船を運転するのも、鋤をとって農業するのも、筆をふるって本を書くのも、同じく人の働きであるけれども、役者になるのを好まないで学者をつとめ、車引きの仲間に入らずにコウカイジュツを学び、百姓の仕事の不満足として本を書く仕事にジユウジするのは、働きの大小軽重をわきまえて軽小を捨てて重大を取ったものである。よいことだ。

ところで、この区別の基準となるものは何であろうか。本人の心であり、また志である。このような心と志を持つものを、名づけて「心が高尚な人」と言う。人間の心は高尚でなくてはならない。心が高尚でなければ、また働きも高尚にはならないものなのだ。

第二に、人の働きには、難易度に関係なく、有用なものと同用なものがある。

囲碁や将棋などは簡単なものではなく、これらの技術を研究して工夫を追求することの難しさは、天文・地理・機械・数学の諸学問と変わらないほどだ。しかし、この役に立つことの大小に至っては、比較にならない。いま、これらが役に立つかどうかをはっきりと知って、役に立つものの方を選ぶのは、すなわち心の見通しがよい人物である。心の見通しがよくなければ、いたずらに苦勞するばかりで、働きに効果がない場合がある。

第三に、人の働きには規則がなければならぬ。

⁽¹⁾ 働きをなすには、時と場所とをわきまえない。 (中略)

この時と場所柄をわきまえて、その規則にしたがうのが、すなわち心のカシコさ^(d)ということになる。働きのみ活発であってこのカシコさがない場合は、蒸気はあってもエンジンがないような、あるいは船に舵がないようなものだ。ただ、プラスにならないだけではなく、かえって害になることが多い。

働きがともなわない弊害

第四に、以上は働きがあつて心の方が行き届かなかったことによる弊害だが、これに対して、心だけが高尚遠大で、実際の働きがないというの、またたいへん不都合なものである。

心が高いところにあつて働きが乏しい者は、常に不平を持たざるをえない。仕事を求めるに当たって世間の仕事を一渡り見てみると、自分にできるような仕事はすべてみな自分の心の基準に満たないものなので、その仕事に就くのは好まない。かといって、自分の理想にかなうような仕事に当たるには、実力が足りない。

こうなってもその原因を自分に求めようとせず、他を批判する。「時代に合わなかった」とか、あるいは「めぐり合わせが来なかった」とか言って、まるで世界中にするべき仕事がないかのように思い込んで、ただ引きこもってひとりで煩悶するだけ。口にはうらみ言、顔には不満を表し、自分以外はみな敵のようで、世間はみな不親切に思える。その心のようにすをたとえてみれば、かつて人に金を貸したこともないのに、返済が遅いといつてうらみに思うようなものだ。

儒者は自分のことを評価してくれる者がいないのを憂い、学生は自分を援助してくれる者がいないのを憂い、役人は出世の手がかりがないのを憂い、町人は商売がハンジヨウ(e)しないのを憂い、士族は藩が廃されたことによって生計を立てる手段がなくなったことを憂い、役職に就けなかった華族は自分を敬ってくれる者がいないのを憂い、毎朝毎晩に憂いがあつて、楽しみはない。

(中略)

もし、これらの人を、それぞれの働きのあるところにしたがつて勤めさせたら、自然と活発に仕事をする喜びを覚えて、事業は次第に進歩し、最終的には **ウ** ようになるはずである。なのに、まったくこれに気づかず、働きのレベルは一なのに、心のレベルは十のままで、レベル一の状態でレベル十のことを望み、十の状態で百を求め、これが手に入らないからといって、いたずらに憂えているというのが、これらの不平家なのだ。

(中略)

また、心だけが高尚で働きに乏しい者は、人に嫌われて孤立することがある。

自分の働きと他人の働きとを比較すれば、最初からかなわなかったとしても、自分の心の高尚さを基準に他人の働きを見れば、これに飽き足りなく思つて、ひそかに軽蔑の念を持たざるをえなくなる。やたらに人を軽蔑する者は、また必ず他人から軽蔑されるものだ。お互いに不平を抱き、互いに軽蔑し合つて、ついには奇人変人と嘲笑され、世間の仲間入りができなくなるに至る。

今日、世間のありさまを見ると、ゴウマンブレイ(f)で嫌われている人がいる。人に勝つことばかり考えて嫌われている人がいる。相手に多くを求めすぎて嫌われる人がいる。人の悪口を言つて嫌われている人がいる。どれもみな、他人と自分を比較する基準を誤っているのだ。自分の高尚な考えを基準にして、これを他人の働きと照らし合わせる。自分勝手な理想像を基準にし、それで人に嫌われる原因を作つて、最後には自分から他人を避けるようになり、孤独で苦しい状態におちいるのだ。

ここで言つておこう。次代の若者たちよ、他人の仕事を見て物足りないなあ、と思えば、自分でその仕事を引き受けて、試しにやってみるのがよい。他人の商売を見て、下手だなあ、と思えば、自分でその商売を試してみるのがよい。隣の家がだらしのない生活をしていると思えば、自分はしつ

かりと生活してみよ。他人が書いた本を批判したかったら、自分でも筆をとって本を書いてみよ。学者を評しようとするなら、学者となれ。医者を評しようとするなら、医者となれ。

非常に大きいことから細かいことまで、他人の働きに口を出そうとするならば、試しに自分をその働きの立場において、そこで反省してみなければいけない。あるいは、職業がまったく違ってその立場に出来ない、というのであれば、その働きの難しさと重要さを考えればよい。違った世界の仕事であっても、ただ、その働きと働きを比較することができれば、大きな間違いはないであろう。

(福澤諭吉著 齋藤孝訳『現代語訳 学問のすすめ』による)

問1 傍線(a)～(f)を漢字表記に改めた場合、それと同じ漢字を用いるものを、次の語群の1～5のなかから、それぞれ一つずつ選べ。

(a) ショウサン 解答番号

37

- 1 長い山道を登った末に素晴らしい峡谷が目の前に開けたとき、ショウドウテキにヤッホーと叫んでしまった。
- 2 大人が冷静になって先人観なく話を聞こうとすれば、子供も心を開いてショウジキに感じたままを話してくれるだろう。
- 3 食べ物を効率よくネンショウさせて体内でエネルギーに変えるために、各種のビタミンは食事には欠かせない。
- 4 囲碁や将棋などゲームをする局面で相手より先に始めた方が必ず有利になることをセンチヒツショウという。
- 5 フードロス削減にもつながるので、スーパーマーケット等がショウミキゲンが近くなった食品を安価に提供することに賛成だ。

(b) コウカイジュツ 解答番号

38

- 1 えびや蟹などのコウカクイはとてもおいしいが、食べ過ぎるとアレルギー症状を発する場合がある。
- 2 コウソクイハンかどうかを判定する前に、そもそも何のためにその決まりが中学にあるのかを議論してみよう。
- 3 これは文豪が一字一字でいねいに万年筆で書いた非常に貴重なジキヒツゲンコウです。
- 4 政府の行き過ぎた取り締まりに対して、多くの若者が路上コウギカツドウを行っている映像をニュースで見た。
- 5 今年最大級の台風接近にもなつて、たくさんの飛行機が次々とケツコウを発表している。

(c) ジュウジ 解答番号

39

- 1 大学卒業後すぐに起業して以来30年間余り、彼女は社長というジュウセキを担い続けています。
- 2 このサーカス団ではライオンやトラを自由に操るモウジュウツカイによる出し物が人気を集めているらしい。
- 3 大きい声で自信たっぷり発言する人の意見には多くの人がツイジュウしがちになる。
- 4 難民が急激に増えたためにキャンプAでは必要な医療物資がホジュウできずに大変困っているとの知らせが届いた。
- 5 北海道で出会った学生たちは、これからまさに南に向かって日本列島をジュウダンする自転車の旅に出るところだと言っていた。

(d) カシコさ 解答番号

40

- 1 平安時代の小野小町はサイシヨクケンビの歌人としても知られ、小倉百人一首にも作品が選ばれている。
- 2 犯罪を捜査すること、控訴を提起・維持すること、裁判の執行を監督することが、ケンサツカンに求められる主な働きである。
- 3 ケンソンが美德とされる文化の中で、人はどのように自己アピールすればよいのだろうか。
- 4 明治時代、多くの女学校では未来のリョウサイケンボを育成するための教育がなされたという。
- 5 あの俳優は持って生まれた優れた素質に磨きをかけて、見事にその才能を舞台でケンサイカさせた。

(e) ハンジョウ 解答番号

41

- 1 温暖化の影響を大きく受けて、かつてこの浅瀬にたくさんハンモしていた海藻類はすっかり姿を消してしまった。
- 2 太平洋上で風を受けながらゆっくりと進むハンセンの姿はとても美しい。
- 3 初心者向けの茶道教室では、毎回、まず先生がモハンを示しながら、丁寧にお点前の基本を教えてください。
- 4 ゼツパンとなった名著は新しく増刷されないのが、古本としての価値が上がるらしい。
- 5 イタリアの画家ミケランジェロはバチカンの礼拝堂に「最後のシンパン」と呼ばれる壁画を描いた。

- 1 二人一組による面白い掛け合いで笑わせるマンザイの起源は、平安時代の伝統芸能にさかのぼると言われている。
- 2 若いうちに世に出て成功したことが、マンシンにつながるように、周りも本人もよく注意すべきである。
- 3 推理小説の真犯人は概してギマンに満ちた言動をするいかにもあやしい人物ではないことが多い。
- 4 小学生の時に初めて高原でのキャンプに参加して、マンテンの星を見上げたときの感動は今も鮮やかに思い出せる。
- 5 コロナという疫病のマンエンを経験して、全世界の人々が伝染病のおそろしさを認めざるをえなくなった。

問2

空欄

ア

に入る語句としてもっとも適切なものを次の1～5の中から一つ選べ。解答番号

43

- 1 同一人物の議論と実行は本質的に同じ性質を持つと主張
- 2 著者の議論と実行が一致しないことを予言
- 3 議論と実行が一致することに感嘆
- 4 議論と実行とが食い違っていることを批判
- 5 もともと議論と実行は一致不可能であると諦観

問3 傍線(イ)「働きをなすには、時と場所とをわきまえないければならない」の具体例として、筆者が適切と考えるものには○、不適切と考えるもの

には×をつけた。その記号がもつとも適切なものを次の1～8のなかから一つ選べ。解答番号

44

あ 文化祭実行委員はイベントで使う音響機器の動作確認をお昼休みと放課後に繰り返し行った。

い 社長が社員の結婚式に招かれてスピーチをした際、その社員の勤務態度について今後直してほしいところを細かく申し述べた。

う 日本の新幹線に初めて乗った外国人旅行者が乗り心地の良さに感激してSNSでメッセージ文を車内から発信した。

- 1 あ〓× い〓× う〓×
- 2 あ〓〇 い〓× う〓×
- 3 あ〓〇 い〓〇 う〓×
- 4 あ〓〇 い〓〇 う〓〇
- 5 あ〓× い〓〇 う〓〇
- 6 あ〓× い〓× う〓〇
- 7 あ〓× い〓〇 う〓×
- 8 あ〓〇 い〓× う〓〇

問4

空欄

ウ

に入る語句としてもつとも適切なものを次の1～5のなかから一つ選べ。解答番号

45

- 1 心と働きとが互いに反発し合う
- 2 それぞれ心と働きが独自に機能する
- 3 心が働きを統合してひとつにまとまる
- 4 心と働きとがきちんとバランスをとる
- 5 働きが心を支配してうまくいく

問5 『学問のすすめ』の説明として、適切なものを次の1～5の中から二つ選べ。なお、解答の順序は問わない。解答番号 46 ・ 47

- 1 仕事をする意欲を励ますという意味において、現代社会にも通じる示唆に富む書物として高く評価されている。
- 2 明治維新の混乱を予感して江戸末期に著された武士道精神に関する詳しい解説書である。
- 3 これから勉学を本格的に始めようとする学生向けに著された専門的な学問の始め方についての指南書である。
- 4 美辞麗句を駆使した華やかでやや難解な文体がかえってこの本の文学としての評価を高めている。
- 5 「天は人の上に人を造らず、また人の下に人を造らず」で始まるこの本は、出版当時から評判をよびベストセラーとなった。

問6 本文の内容と合致していないものを次の1～7の中から三つ選べ。なお、解答の順序は問わない。解答番号 48 ・ 49 ・ 50

- 1 心に思っているのみでまだ形になっていないものを働きとして高く評価するのは誤りである。
- 2 人の就く仕事はいずれも等しい価値を持っているため、世の中に役立つかどうかをあれこれ比べて自分の就く仕事を選ぶべきではない。
- 3 高望みして仕事に就けず不平を言って暮らすよりも、まずは仕事を得て働くことで状況は好転するだろう。
- 4 どの仕事に就いても不平は出てくるものなので、そこで我慢するよりも率直に問題点を周りと共有して解決策を模索すべきだ。
- 5 眺めているだけではなく、自分でやってみることによって他者が行っている仕事の実情がわかることがある。
- 6 心と働きのバランスを整えるには自然の中に身を置いて生活するのも良い方法だ。
- 7 自分の基準に照らして他者に優劣をつけて接していると良い人間関係は築きにくい。